

<https://www.nipponpaint-holdings.com>

東京本社 〒104-0031 東京都中央区京橋1-7-2
ミュージアムタワー京橋 14階
☎03-6433-0711

大阪本社 〒531-8511 大阪市北区大淀北2-1-2
☎06-6458-1111

INNOVATOR for PAINT TECHNOLOGY

塗料業界のパイオニアから、塗料技術のイノベーターへ。

All The Products With Innovation

私たち日本ペイントグループは、
1881年に当社の前身である光明社が我が国初の洋式塗料を製造して以来、
140年以上にわたって日本の塗料業界のリーディングカンパニーとして歩み、
先進国として世界の経済を牽引するまでとなった日本経済の成長の一翼を担ってまいりました。
お客さまが活躍の舞台を広げるとともに、
私たちが製品分野を拡充し、アジアを中心に世界に進出。
現在では塗料事業とファインケミカル事業の2つの分野で事業を展開し、
アジア・北米・欧州・南米・オセアニアに拠点を設けています。
2021年より、Wuthelamグループが保有するアジア合併事業の100%化が完了し、
新たな成長のステージに挑戦します。
日本の塗料業界のリーディングカンパニーから、
世界の塗料業界のリーディングカンパニーへ。
私たちは、世界に「Nippon Paint」の名を広げてまいります。



日本の日本ペイントから 世界のNippon Paintへ

日本ペイントグループは、新たな成長に挑戦します。

皆さまには、平素より格別なるお引き立てを賜り、心より御礼申し上げます。

日本ペイントグループは、日本、アジア、オセアニア、米州、欧州など世界30の国と地域で事業を展開し、重要な経営ミッションである株主価値最大化(Maximization of Shareholder Value: MSV)の実現に向けて事業を推進しております。MSVとはお客様、取引先、従業員、社会など企業活動における各ステークホルダーへの責務を十分に果たした上で残存する財務上の価値の最大化を目指す考え方です。このMSVは、所謂「株主第一主義」に表象されるような短期的な利益の極大化とは一線を画し、企業の社会的責任を十分に果たしながら持続的な成長・残余価値の最大化を図るというものです。

そうした経営のミッションのもと、私たちは「サイエンス+イマジネーションの力で、わたしたちの世界を豊かに。」というグループ共通の「Purpose」- わたしたちの存在意義」を策定しました。また、本年より日本ペイントHDは、上場会社および純粋持株会社の機能に特化することとし、新たに設立した日本ペイントコーポレートソリューションズ株式会社に国内のオペレーションに関する共通機能を継承しました。今後さらに各パートナー会社*の自律的な経営を尊重しながら、世界各地の多様性豊かな社員が強い絆で協働し、MSVの実現に向けた取り組みを加速してまいります。

*日本ペイントHDの連結子会社の呼称

当社は日本で最も長い歴史を誇る総合塗料メーカーとして、無毒性の亜鉛華(あえんか)の開発にはじまり、近時は抗ウイルス塗料など様々な社会課題の解決に貢献して参りました。塗料・コーティングとその周辺事業は今後も着実な成長が見込まれる中、当社は、塗料産業における歴史と伝統を重視しながら、成長への飽くなき追求、ベンチャー気質、多様かつ優れた人材を特色とする、強力かつユニークな企業グループであり、持続的な成長を確固たるものにすることが可能であるものと自負しております。

「2021-2023年度中期経営計画」では、グローバルな成長をさらに加速させ、2023年に売上収益1兆1,000億円、営業利益1,400億円を達成することを目指しております。刻々と変化する事業環境、世界の環境・社会問題にしっかりと対応しながら、共通のPurposeのもと、当社グループの総合力を最大限に発揮することで社会の発展に貢献し、MSVを実現してまいります。

皆さまには、今後とも、ご指導、お力添えを賜りますよう、何卒宜しく願い申し上げます。



取締役 代表執行役共同社長
若月 雄一郎



取締役 代表執行役共同社長
ウイー・シューキム

塗料から塗装、表面処理まで。技術の“深さ”と“広さ”をさまざまな事業を通して、社会に貢献しています。

お客さまのご要望に合わせた「塗料」だけでなく、それを効率的かつ高品質に「塗装」していただくための設備、塗装の前工程として素材に機能性を持たせる「表面処理」まで。当社グループは、国内で唯一、塗料と表面処理を総合的に扱うメーカーとして、幅広い技術・サービスをワンストップでご提供しています。

材料合成分散技術

各材料の物性や化学反応、塗膜が形成される過程などについて、高度な知見と技術を蓄積。

Core Technology

日本の塗料業界の
パイオニアとして確立した
技術力

界面表面技術

素材表面を、化学的あるいは物理的に変化させ、改質する技術。異種金属の同時処理も実現。

塗装技術

表面処理から塗装乾燥までの設備エンジニアリング技術を有し、塗装工程の生産性向上に貢献。

活かし、

塗料事業

当社グループの主力事業である自動車用塗料をはじめ、大型構造物の建設メンテナンスに貢献する汎用塗料、工場製品の塗装に活用される工業用塗料、さらには、ホームセンターで販売される家庭用塗料まで、塗料を必要とするあらゆる分野に製品をお届けしています。

ファインケミカル事業

金属やプラスチックなどの表面を改質し、防錆性などの機能を付加する表面処理。塗料だけでなく表面処理も含めた塗膜形成をご提案できるのは、当社グループの大きな強みです。さらに、ファインプロダクツ事業では、こうした技術を応用し、新たな市場の開拓に挑んでいます。



自動車用塗料

自動車ボディを彩る高機能かつ意匠性の高い塗料。バンパーや各種樹脂部品の塗料も開発。



汎用塗料

住宅から橋梁などの大型構造物まで、施工現場での塗装に幅広く使用される塗料。作業性の向上も追求。



工業用塗料

建設機械、農機、外装建材、オフィス機器、家電製品など、非常に広範な工業製品に向けて塗料を展開。



船舶用塗料

海洋生物による船底の汚損を防ぎ、船舶の運航効率を向上する塗料を開発。さらなる低燃費に挑戦。



自動車補修用・家庭用・道路用塗料

自動車の補修や、道路の路面標示や、家庭でのパーソナルユースなど、塗料の用途と機能をさらに拡充。



表面処理

表面処理の付加価値を追求し、素材に防錆性や塗膜密着性、耐久性の向上など、多彩な機能を付与。



ファインプロダクツ

塗料・表面処理で培われた技術を異分野で応用活用し、電子材料やエネルギーなど新たな市場を開拓。

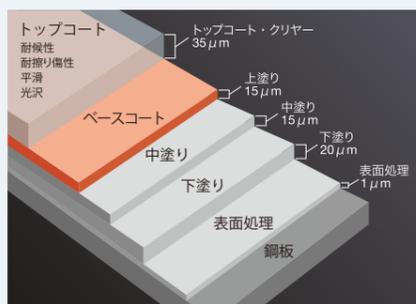
自動車用塗料

Automotive



新車塗装全工程の塗料とコーティングを提供可能。 環境に配慮した製品開発も積極的に推進。

ボディ塗装の前工程として使用する表面処理剤から下塗り・中塗り・上塗り用塗料までを一貫して提供できる製品群。さらには、バンパーや各種樹脂部品用の塗料も展開しています。当社グループは、新車塗装の全工程を一貫して提供できる自動車用塗料のメーカーです。近年のCASEやMaaSなどの自動車産業の変革に対応できる機能性塗料や、環境負荷物質を低減した製品の開発も進めています。燃費向上を目的に採用が拡大する樹脂素材に対しては、低温短時間の焼き付けでも従来通りの外観・耐久性が実現できる塗料の開発に取り組むなど、日々、研究開発を進めています。



次世代自動車産業・脱炭素社会を見据え、 加飾フィルムの開発を加速。

各自動車メーカーがカーボンニュートラルへの活動を進めるにあたり、当社グループは、加飾フィルムの開発にも力を注いでいます。次世代自動車へのシフトが進む中ニーズが高まる加飾フィルムは、塗装工程をフィルム加飾工程に置き換えることで、CO₂の排出量の低減も期待されるほか、フィルムならではの自由なデザインを施しつつ、ディスプレイの保護や映り込み防止、抗ウイルス等の機能を付与することができます。また、自動車用の加飾フィルムに加え、工業用や汎用製品などの他領域や、グローバルへの展開も見据えています。当社は、既存塗料事業に加え新たなフィルム事業を通じて、お客様の多様なニーズに沿った高品質な製品を提供してまいります。



Innovation Technology

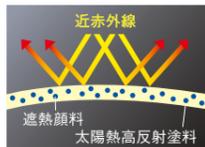
3ウエット塗装システム

下塗り・中塗り・上塗りの塗料ごとに行っていた焼き付け塗装工程を、中・上塗りを塗り重ねて1回の焼き付けで塗装する技術。自動車メーカーの省工程・省エネに貢献しています。



自動車ボディ用遮熱塗料

ボディ鋼板に塗装することで、車体の温度上昇を抑制する塗料を開発しています。車載エアコンの効率を高め、エネルギー消費を抑制する効果が期待できます。



汎用塗料

Trade-use



建造物・構造物を保全し、 暮らしと環境を守る。

戸建て住宅、ビル、橋梁などの施工現場で幅広く使用されている汎用塗料。当社グループでは付加価値の高い製品開発、調色・流通の効率化を進め、お客さまの利便性向上に努めています。建築用塗料分野では塗料の粘度を抑制する技術や、さまざまな環境配慮型製品を展開。塗料の粘度を抑制する技術や「塗りやすさ」を追求した製品を開発し、施工現場の効率化も実現しました。また、老朽化したインフラの保全が社会的問題となる中、構造物用防食塗料の分野でも環境配慮と防食性を向上させた製品を展開し、お客さまから評価と信頼を得ています。

Innovation Technology

PROTECTON® (プロテクトン)

抗ウイルス・抗菌機能を備えたペイントテクノロジーブランドPROTECTON®は、グループの塗料・コーティング技術を源流に、新たな機能と価値を最先端テクノロジーで実現しました。



はくらく コンクリート剥落防止システム

老朽化によるコンクリート片剥落を塗料・塗装によって防止する画期的なシステム。「タフガードQR工法」は省工事も実現し、多くのインフラ補修工事で採用されています。



工業用塗料

Industrial-use



(写真提供: 東日本旅客鉄道株式会社様)

事業展開領域の広さを活かし、 社会課題の解決を追求する。

工業用塗料分野では兼ねてより、建設機械、農業機械、鉄道車両、外装建材、オフィス機器、家電製品など、広範な事業展開によって、技術と知見を蓄積してきました。この経験と財産を、さらに社会課題解決に向けて還元することに注力していきます。工業製品向けの展開で環境配慮に貢献する粉体塗料、水性塗料、カラー鋼板向けのクロムフリープライマー、インフラ・エネルギー領域への展開で付加価値を發揮する道路用遮熱塗料、高耐久白線塗料、絶縁塗料などの機能性塗料、抗ウイルス・抗菌商品による生活全般への安心・安全の提供など、時代変化を捉えた提案を、すでに行っています。これからも、工業用塗料技術を活かし、社会課題の解決を追求し続けていきます。

Innovation Technology

抗ウイルス・抗菌スプレー 「PROTECTON®バリアックス® スプレー」

ナノコーティング技術に高濃度アルコール、光触媒技術と固定化技術を組み合わせることで、瞬時・持続・耐久の3つの機能を兼ね備えた抗ウイルス・抗菌コーティングを実現します。



水性ウレタン

多くの場面で上塗り塗料として使用されるウレタン。環境への配慮から欧米では水性ウレタンが標準化しています。当社グループでも水性化技術を開発し、市場への展開を進めています。



船舶用塗料

Marine coatings



環境規制や顧客ニーズに即応し、世界の造船・海運に貢献する。

船舶塗料事業は当社グループの創業事業であり、140年の歴史を刻みます。製品の製造・販売などをグローバルに手掛け、新造船から補修船まで、国内外で一貫した供給体制を確立しています。また、当社グループの総合力を活かした研究開発を通じ、優れた先端環境製品を開発・提供しています。

特に海洋への防汚剤の溶出削減による環境負荷低減、船舶からの排出CO₂の削減に貢献する商品の開発に注力しています。将来に向け「海洋汚染ゼロ」の船底防汚塗料の研究も進めています。SDGs・ESG視点を経営の中核とした価値創造を行い、世界で認められる企業を目指します。

Innovation Technology

船底防汚塗料「FASTAR」

独自開発の親水疎水ナノドメイン技術とウォータートラッピング技術が採用され、外部環境影響を抑え、船舶の運航効率向上と環境負荷低減に貢献しています。



膜厚が目視でわかる塗装システムNOA

塗装中に下地の透け具合で規定膜厚を目視判断できる先進技術で、膜厚測定を軽減し、造船工程の省力化・標準化を実現します。バラスタタンクから船底まで幅広い部位に塗装可能です。



自動車補修用・家庭用・道路用塗料

Auto refinish / DIY / Roads



個人住宅から社会的インフラまで、構造物と暮らし、そして、環境を守る。

自動車補修用塗料

新車塗装で培った最先端技術を補修分野へ応用すると共に、補修に適した独自技術を生み出しています。自動車補修用塗装システム「e³(イーキューブ)」シリーズを中心に、環境負荷の低減や、補修作業の効率化につながる塗料を提供します。



家庭用塗料

日本国内でもDIYへの関心が高まる中、外壁から屋根、浴室、室内かべ、ガーデニング、ホビー工作用まで、住まいのあらゆるニーズにお応えするべく、豊富な製品をラインナップ。高機能塗料による快適な暮らしと環境の調和を目指しています。



道路用塗料

路面標示(センターライン・外側線など)用塗料、道路用遮熱塗料などを展開し、道路交通の安全と快適性向上に貢献しています。さらには、安全施設・保安用品など交通安全関連商品の開発にも注力しています。



ファインケミカル事業

表面処理

Surface treatments



塗料メーカーだから提供できる、塗料と親和性の高い表面処理。

塗装の前工程として素材表面に防錆性や塗膜密着性、耐久性向上などの機能を付与する表面処理。当社グループは、国内で表面処理から上塗り用塗料までを一貫して提供できる唯一の塗料メーカーです。さまざまな塗料を知り尽くした当社グループだからこそ、塗料と親和性の高い高品質の表面処理剤を幅広い産業分野のお客さまに提供できるのです。近年、カーボンニュートラルやゼロエミッションを始めとした環境課題を解決する技術ニーズが高まっています。当社グループは、表面処理と塗料の特性を融合した機能性薄膜技術により、このような新しい社会課題にも積極的に対応してまいります。

Innovation Technology

親水化処理剤

エアコンの熱交換器用アルミ部品などに幅広く使用されている処理剤。アルミに親水性を与えることにより水滴の発生を抑制し、水ハネや熱交換器機能低下を防止しています。



環境配慮型表面処理剤

リンも重金属も使用しない表面処理剤を開発。防錆性などの機能はそのままに、環境配慮性能を向上させました。自動車用・工業用など幅広い分野のお客さまに採用されています。



ファインプロダクツ

Fine products



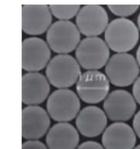
時代の先にあるニーズを発掘し、新たな市場を創造する。

ファインプロダクツ事業では、塗料で培った技術をベースにお客様のニーズに合わせて様々な市場へ商品を展開しています。「ファインスフェア」は分散性・屈折率等を緻密に制御できるナノサイズのアクリル樹脂微粒子であり、お客様の要望に合わせた種々の特性を付与することが可能です。また当社グループでは、いち早く医療機器分野での商品を開発してきました。血清分離剤は粘性や比重を制御し、採血された血液の血清成分を分離するのに利用されています。当社の血清分離剤は現在世界中で広く使用され、全ての人の健康を守ることに貢献しています。

Innovation Technology

ファインスフェア(アクリル樹脂微粒子)

平均粒子径50nm~1μmの水分散体および粉体で提供される環境配慮型製品です。粉体の帯電制御、フィルム表面の凹凸形成、液体の粘性制御など様々な機能制御に使用されます。



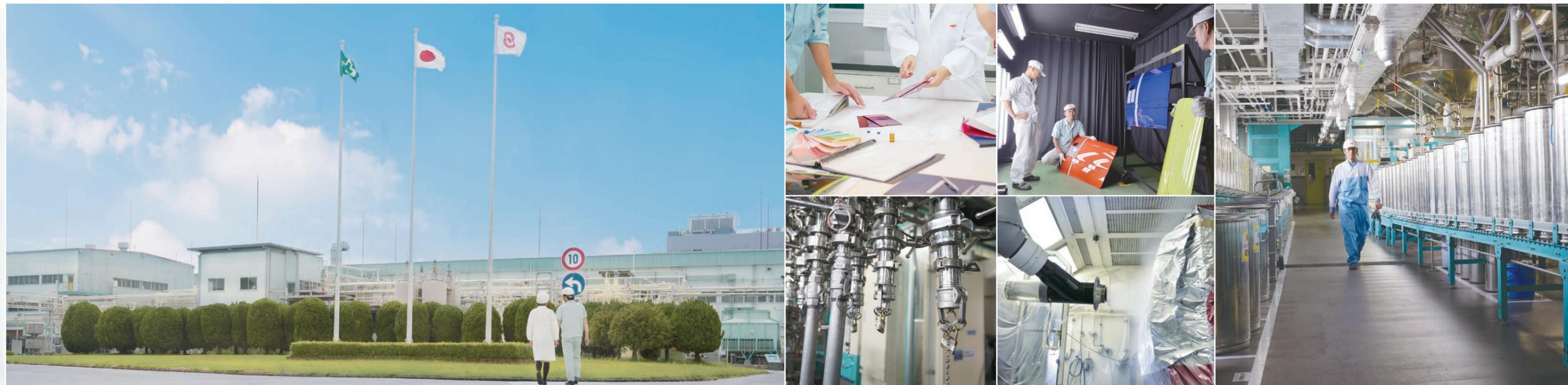
PS GEL(血清分離剤)

血清(血漿)分離剤は、採血の際に使用される真空採血管の中に入っている製品です。採血後の遠心分離により、検査に必要とされる血清成分を効率よく分離することができます。

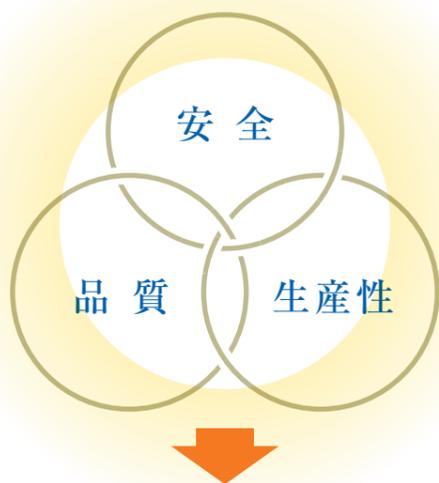


安全、品質、生産性。

お客さまの満足を追求し、飽くなき改善を重ねていく。



安全、品質、生産性の向上により、
真に価値あるモノづくりを目指しています。



- 付加価値の高いモノづくり
- QCD(品質/コスト/納期)の最適化
- 安定した製品供給力

安全

安全最優先を徹底し、
災害発生を未然に防止。

さまざまな化学物質を扱う塗料の研究開発・製造現場は多くのリスクが潜んでおり、一つのミスが重大な災害につながりかねません。当社グループでは、「安全はすべてに優先する」という方針のもとに、現場での安全教育や社員の感性に訴えかける安全体感教育などの教育訓練を日常的に行い、安全に対する意識・行動の向上に取り組んでいます。また、リスクアセスメント活動や経営トップによる巡回を行い、問題点を速やかに改善することで、災害発生を未然に防止しています。



200ページを超える「作業安全手帳」。翻訳版も作成、海外でも活用しています。



「安全体感教育」には、塗料販売店などのお客さまが参加されることも。

品質

原材料購入から最終の検査ラインまで、
あらゆる角度から品質向上に取り組む。

原材料の購入から配合設計、生産・検査ラインに至るまで、塗料の製造にかかわるすべての工程の作業品質向上に努めています。生産ラインでは改善活動を日々行い、塗料の品質向上につなげているほか、異物混入を防止するためライン作業者の制服にも厳格な規定を定めています。また、独自開発した塗料分析技術を原材料の検査にも活用し、ラインに投入する前に原材料の不具合の有無をチェックしています。



原材料入荷から製品出荷まで、異物混入防止だけでなく作業者のヒューマンエラーを防止する仕組みを構築。



海外生産拠点も参加したグローバルQC(品質管理活動)大会を毎年開催。

生産性

多品種化と生産効率向上を両立。
製品設計部門とも積極的に連携。

コスト・納期の面で競争力を維持し、多様な製品群を生産するためには、「製品多品種化」と「生産効率向上」を同時に実現しなければなりません。そこで、生産ラインを「標準化によって効率を高める共通部分」と「細分化して製品ごとに造りこみを行う部分」に分け、これらを適宜組み合わせることで、品質・コスト・納期への対応力を向上させています。また、効率的な生産を実現するため、製品企画の段階から製品設計部門と積極的に連携しています。



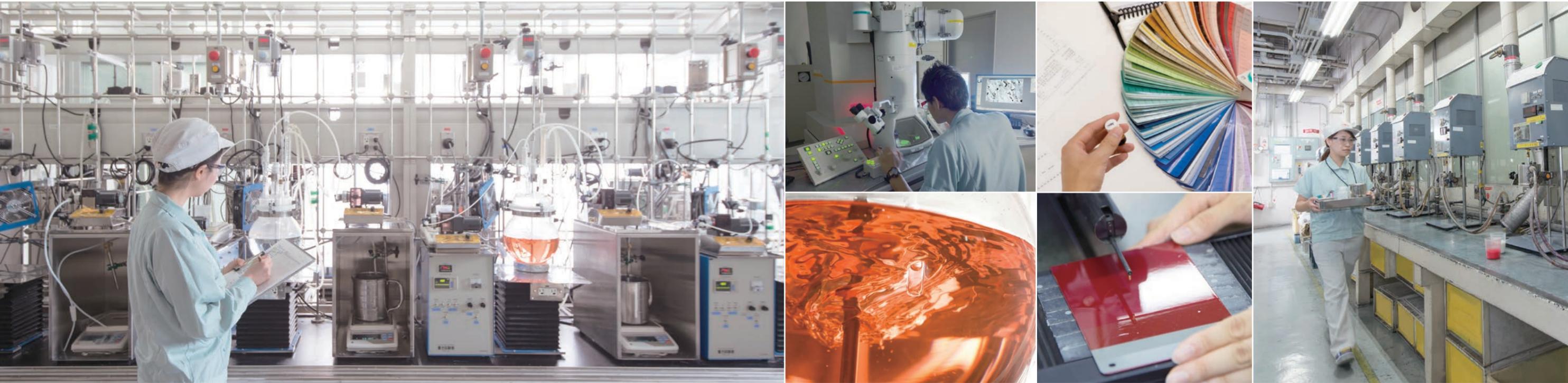
全国の生産拠点で生産ラインの標準化を推進。BCP(事業継続計画)対策としても有効な一手に。



研究開発・営業・生産が連携し、効率的な生産も意識した製品企画を推進。

研究開発

層の厚い研究開発体制で、
塗料の歴史を、次々と塗り替えていく。

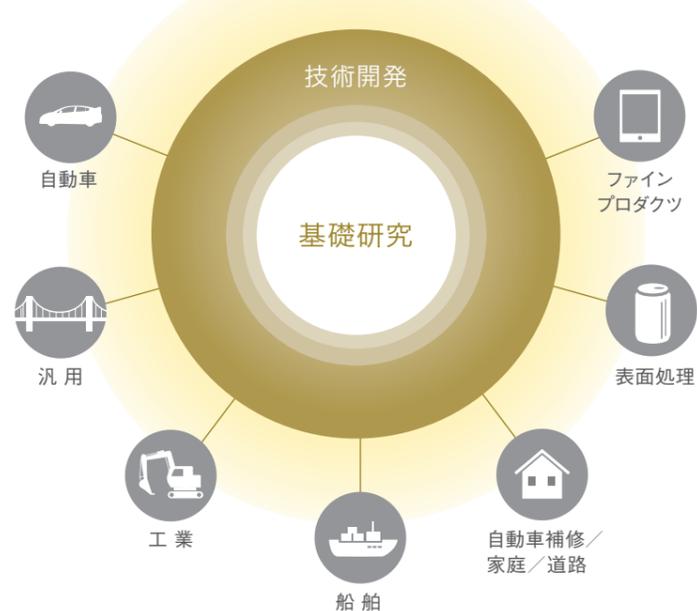


顕在化しているニーズにも、
潜在的なニーズにも、応えていく。

お客さまの製品や扱われる素材が多様化し、塗料に求められる機能もまた、美観や保護だけでなく、多岐にわたっています。
当社グループでは、環境配慮型製品の開発、コストの最適化やグローバル展開に向けた技術開発、そして、お客さまが求める付加価値の創造をめざして研究開発に取り組んでいます。
さらに、中長期的な視野のもと、未来の新しい需要を創造するための技術開発を進め、市場において顕在化しているニーズにも、将来見込まれる顧客ニーズにも対応しています。



現場目線の製品改良も、
未来を見据えた技術研究も。
各事業分野と連携した、層の厚い研究開発体制。



海外パートナー会社との連携を深め、
グローバルR&Dを推進。

経済のグローバル化、お客さまの海外進出がさらに加速し、塗料についても各国の環境規制や現地の市場ニーズを念頭においた研究開発体制の構築が求められています。当社グループは、アジアを中心に世界に展開する海外パートナー会社の技術部門との連携を深め、技術の共有化や国別の塗料ニーズの調査、共同研究開発を積極的に展開しています。また、自動車用塗料事業を展開する北米では、環境配慮や高外観、耐擦り傷性といった現地のニーズに対応する製品を投入しています。

多彩な視点を活かして、
革新的な環境配慮型製品を生み出す。

当社グループではこれまで環境負荷の少ない多様な塗料を研究開発し、製品化してきました。CO₂削減につながる塗装の省工程化にも取り組み、自動車用塗料や汎用塗料などで塗装工程短縮を実現する新製品を展開しています。船舶用塗料分野では、マグロの皮膚にヒントを得て船舶の燃費を向上させる船底塗料を開発し、多くの船舶に採用されています。当社グループではこれからも多彩な視点を活かして研究開発を進め、革新的な環境配慮型製品を市場に送り出していきます。

カラーデザインの開発により、
さらなる付加価値を生み出しています。

自動車や建築、工業製品などの分野では、「色彩」や「質感」によって生み出される意匠性も重要な付加価値となります。当社グループでは、豊富な専門知識を持つカラーデザイナーからなる専門セクションを設け、意匠と技術を両立させた色彩提案を行っています。



グローバル展開

日本のパイオニアから、
世界のNippon Paintへ。
グローバル競争における存在感を
強めています。

1962年、現在のアジア事業の礎となる合弁会社をシンガポールに設立。
以来、半世紀以上にわたり、積極的に海外事業を推進してきました。
21世紀となった今日では、アジア、米州、欧州、オセアニアに拠点を広げ、
「世界のNippon Paint」を目指して、競争力と存在感を強めていきます。

Japan

日本で培われた高度な技術や品質を、
世界へ広げていく。

東京・大阪に本社を置き、日本全国に生産拠点、事業所・営業所拠点を展開
しています。国内のお客さまからは、非常に高度な品質や機能、細やかな
サービス、安定した供給力などが求められ、こうした環境で培われた技術や
サービスは、海外市場においても大きな強みとなります。



Asia

成長著しいアジアで、
トップブランドとして
地位を築く。

その市場規模や成長性から、当社グループではアジアをグローバル
展開の最重要拠点としています。巨大マーケット・中国において、
ナショナルブランドとして建築・DIY用塗料分野でトップシェアを
誇るなど、アジアの中で確固たる地位を築いてきました。近年は
自動車を中心とした工業用分野の躍進もめざましく、中国、シン
ガポールに開発センターを、バングラデシュなどの開発途上国
にも拠点を設けるなど、さらなる市場シェア拡大を狙います。



Americas

安定した成長が続く米州で、
建築用・自動車用塗料事業を
拡大していく。

1980年代後半、日系自動車メーカーの北米進出が活発化した
ことに伴い、当社グループも北米に進出。1990年にはNIPPON
PAINT (USA) INC.を設立し、カナダ・メキシコにも拠点を設
けています。2017年にDUNN-EDWARDSを連結子会社化し、
自動車用塗料に加えて建築用塗料分野でも事業を拡大してい
ます。



Europe

塗料の世界的メーカーが
競争を繰り広げる欧州で、
フィールドを拡大していく。

北米に匹敵するビッグマーケットである欧州。世界トップシェアを
争う欧米塗料メーカーたちが、さらなるシェア拡大をめぐる競争
を繰り広げています。当社グループは1989年に、イギリスに
NIPPON PAINT (EUROPE) LTD.を設立。近年Betek Boya社、
Cromology社を子会社化し、欧州における建築用塗料事業や
塗料周辺事業の拡大を図っています。



Oceania

オセアニアでの
No.1 ポジションを
強固なものにしていく。

安定成長が見込まれるオセアニアにおいて今後も需要拡大が期
待される建築用塗料市場で、No.1ポジションを強固なものとし、
オセアニアでのさらなるシェア拡大を狙います。

